

# 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う アンケート調査報告書

令和 2 年 5 月 24 日  
藤沢市市民活動推進センター

## 目次

### P1……1 はじめに

### 2 調査概要

### P2……3 調査概要

### P3……4 回答者の属性

### P4……5 調査結果

P4…Q1. 活動にどのような影響がありましたか？

P5…Q2. どのような対応を行っていますか？その内容をご記入ください。

P6…Q3. 今回の対応で困ったことがありましたか？

(Q3 で「はい」と答えた方) Q3-2. どのようなことが困りましたか？

P7…(Q3 で「いいえ」と答えた方) Q3-3. いいえと答えた理由を教えてください。

P8…Q4. どのような工夫をして、困難な状況を乗り越えていますか？(もしくは乗り越えようとしていますか？)

P9…Q5. 今回の対応について、スタッフとはどのような方針を共有していますか？

Q6. 参加者・利用者などの支援対象者がいる場合、どのようなご案内をしていますか？

P10…Q6-2. そのご案内に対して、参加者・利用者などの支援対象者からはどのような反応がありましたか？

P11…Q7. 団体にとって、今後、どのような影響があると予想されますか？

P12…Q7-2. それに対して、どのような対策を講じていますか？または講じようと考えていますか？

P13…Q8. 団体が今後必要と考える、今回の件に関するサポート内容についてご記入ください。

P14…Q9. 行政や助成団体などの他組織へのご要望があればご記入ください。

P15…Q10. その他今回の新型コロナウイルス感染拡大について、団体として気になっていることなどをご記入ください。

別添資料 自由記述回答データ

※記載した意見は、原文を最優先にさせていただきました。

## 1.はじめに

藤沢市市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染防止に伴い、2020年4月1日から3日までの3日間は一時的に閉館したものの、3月6日から5月31日の84日間、一部のサービスを除き休館いたしました。

本年(2020年)2月20日に厚生労働省よりイベントの自粛要請、2月28日に内閣より公立学校の休校要請、そして4月7日には緊急事態宣言が出されました。当センターではそれを受け、市民活動への影響も非常に大きくなっていくと考え、3月15日より4月30日までの期間、本アンケート調査を実施いたしました。寄せられた回答からはイベントの中止、総会の開催場所、収入の減少など様々な面で影響が見られます。また、お電話などで寄せられたご相談についても、持続化給付金の申請など、活動の継続に不安をお持ちの例がありました。

本アンケートは、市民活動等への影響を把握し、運営の工夫点や今後の支援策などのアイデアを共有することを目的としています。皆さまのご回答をもとに今後のご相談や情報提供に活かしてまいります。また、有効な支援策の行政への提案等、少しでも皆様のお困りごとを解決に導く手助けができればと考えております。

本報告書の作成時点では、いまだ世界的に収束の先行きが見えない状況にあります。日本国内でも再流行が起これないとは限りません。そうした事態になっても市民活動に携わる皆さまが受ける影響を最小限にできるよう、引き続き支援を続けてまいります。

## 2.調査概要

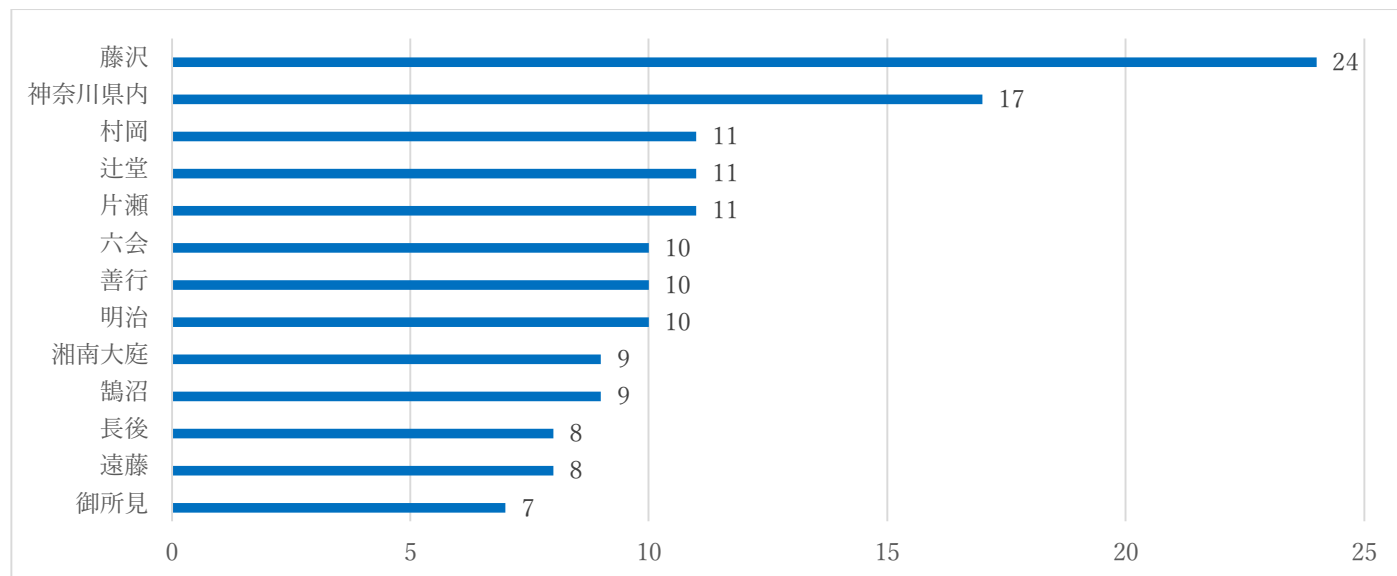
調査主旨	新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、市民活動にどのような影響が及ぼされたのか、例えば、イベントやセミナーの中止による損失の状況等を把握すること。また、これを機に運営の工夫点などを可視化し、仕組みの拡充を図れるようにするため。さらに、今後、どのような支援策を講じると良いのかを共有し、この状況を乗り切る術を見出していければと考えております。
調査対象	藤沢市市民活動支援施設に関わりのあるNPO・市民活動団体および個人等
調査方法	ウェブフォームおよび調査票のダウンロードによる実施
調査期間	2020年3月15日(日)～4月30日(木)
回答数	合計 44件 (3月中33件、4月11件) 内訳 NPO法人 16件、任意団体 25件、その他の団体 3件

### 3.結果概要

- 感染拡大防止や緊急事態宣言発令によりイベントを軒並み中止とするなど、活動延期・中止をする団体も多いが、電話での相談対応やテレワーク、IT を使った会議の実施など、コロナ対策を行った上での活動を実施する団体もあった。
- 団体が困っている点として、「イベントや会議を開催できない」「活動ができない」の割合が多かった。公設の活動施設の一斉閉館に伴い、会場を確保できないということは、かなり多くの困りごとの要因となっていることが分かった。次いで、「収入減と固定費の支払い」といった財政面での困りごとや、「計画を立てられない」等今後の運営に関係する意見が得られた。
- 各団体の利用者、参加者からは、活動の中止や縮小について概ね理解を得られているとの回答が多かった。
- 団体内での会議や情報共有は、インターネット会議等の IT 活用が増えつつある。総会については、電磁的な方法で総会を実施する団体もあるが一般に普及しているとは言い難く、総会実施が困難な団体もあった。
- 任意団体は、活動場所が確保できないことによる「活動そのものの継続・存続」が主な困りごととして挙げていた。
- 財政的には NPO 法人への影響が非常に大きい。活動停止による事業収益の減少、助成金や補助金の返金など、収入が大きく減っている団体があり、活動存続の危機に直面すると予想している、または直面している団体がある。
- 上記の結果から、今回の状況を乗り切るためには、緊急支援としての財政的な支援策を、行政も含めて早急に考える必要があると思われる。また、市民活動支援施設には、支援金・助成金の相談対応のみならず、団体の規模やテーマに応じた経営的視点を持った受け皿としての役割を果たすことが求められている。
- また、各種情報が錯綜し、正確な状況が把握し難いことも、判明した。正確な情報の取得と、速やかな発信は引き続きしっかりと取り組んでいく必要がある。

## 4.回答者の属性

### 活動エリア(複数選択可)



### 活動分野

分野	子どもの健全育成	まちづくりの推進	環境の保全	保健・医療・福祉の増進	社会教育の推進	学術・文化・芸術・スポーツの振興	団体の連絡、助言、援助
回答数	6	6	6	5	4	4	4

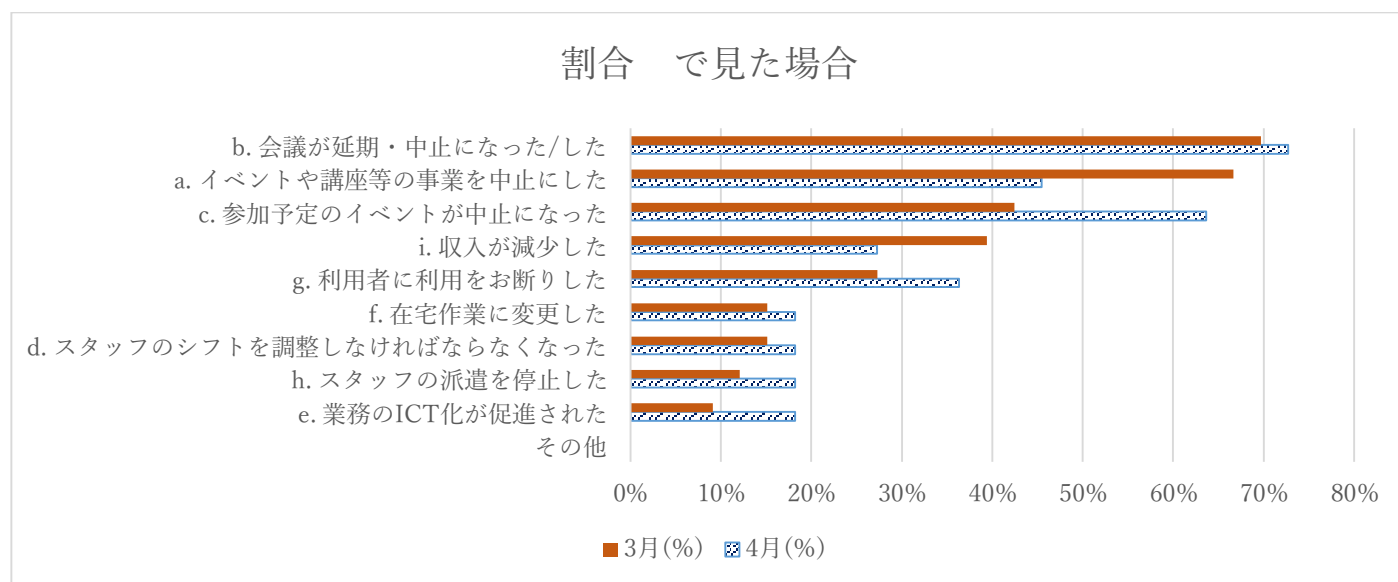
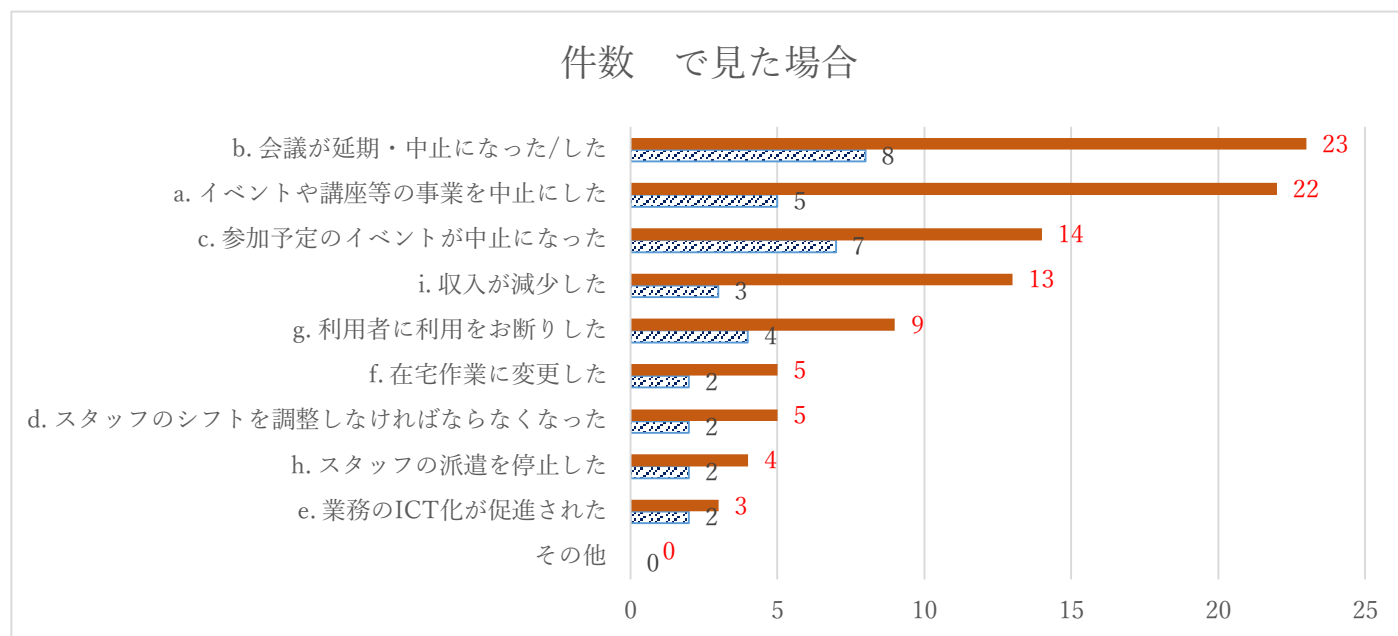
分野	情報化社会の発展	観光の振興	災害救援活動	地域安全活動	国際協力	経済活動の活性化
回答数	3	1	1	1	1	1

### 法人格の種類

法人格の種類	NPO 法人	任意団体	その他
回答数	16	25	3

## 5. 調査結果

### Q1. 活動にどのような影響がありましたか？



3月、4月ともに、①半数以上の団体で、会議やイベント等の実施の中止・延期の影響があった、②3～4割の団体で収入の減少している、③約3割の団体で利用者に利用をお断りしている。また、3月から4月にかけて、④参加予定イベントの中止、⑤業務のICT化の促進、が増加している。

NPO法人は、その6割が収入の減少があったと回答しており、運営への影響が強く出ているという結果になった。

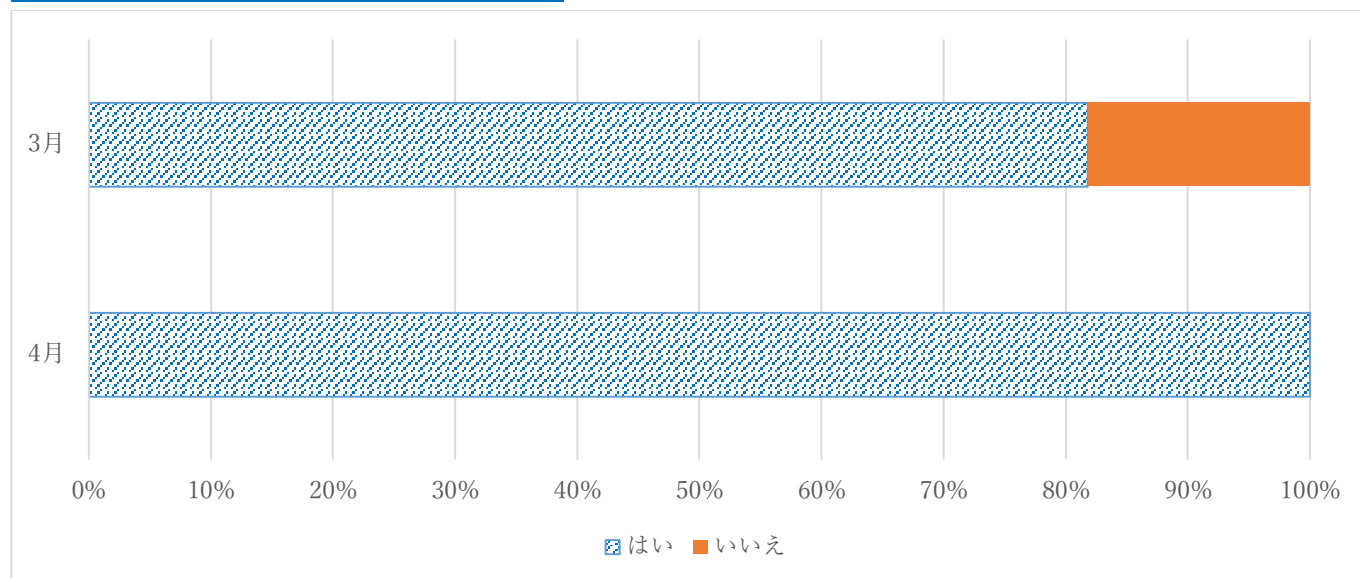
新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

Q2. どのような対応を行っていますか？その内容をご記入ください。

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		33	10	43
感染拡大防止の 基礎的対応	手洗い・うがい・マスク着用・アルコール消毒	4	0	4
活動全般 について	活動の中止・延期	4	2	6
	施設の閉館	1	1	2
	無料教室の実施	1	0	1
	出来る限り通常通りに活動	1	0	1
	出来ることに限って実施する	1	0	1
	普段できないことを実施する	1	0	1
イベント・会議 共通	イベント・会議の場所を確保できない	2	0	2
イベントに ついて	イベントの中止・延期	7	3	10
	インターネット等を使ったイベントの実施	1	0	1
	その他、代替イベントの実施など	1	0	1
会議に ついて	会議の中止・延期	8	1	9
	人数を減らして会議を実施	1	0	1
	インターネット会議の実施	3	3	6
	会場を変更して会議を実施	2	0	2
情報交換・共有	メルマガ、SNS などインターネット等を使った情報交換(イベント・会議以外)	6	0	6
労働スタイルの 変更	テレワークの導入	3	1	4
	勤務時間の変更・短縮	1	0	1
収入減	収入減少への対応	1	1	2
その他	特に何もしない。復旧を待っている	2	0	2

活動全般について中止・延期をしている団体が多いが、「できる事に限って」、「普段できない事を」、実施するなど、工夫を凝らして活動を続けている団体もある。また、イベントや会議の実施は会場の確保が困難で、中止や延期の対応を行っている一方で、インターネットを使ったオンラインイベントやインターネット会議を実施する団体が出てきている。長期化に伴い、労働スタイルの変更や収入減少への対応が必要になると思われる。

Q3. 今回の対応で困ったことがありましたか？



3月中は悪影響がまだ出ていない団体もあったが、4月になると全ての団体に影響が出ている。

(Q3で「はい」と答えた方) Q3-2. どのようなことが困りましたか？

		3月	4月	合計
有効回答件数		26	10	36
感染拡大防止の 基礎的対応	スタッフや客の安全確保・マスクがない	2	0	2
	収入が減った・補助金等の返金・固定費が払えない	6	1	7
収支について	出費が増えた	1	0	1
	会員・一般へのサービス活動等の停止	1	5	6
活動全般 について	予定を立てられない	1	0	1
	相談できる相手の不在	1	0	1
	いつものサービスが利用できない(会場を除く)	3	0	3
	いつもの場所が利用できない	8	3	11
イベント・会議 について	会議ができない・意見交換できない	4	3	7
	中止の告知・調整	3	0	3
	シフト調整・休業補償	1	1	2
団体内での対応	新システムへの初期対応	1	0	1

困っている点については、3月、4月ともに、「イベント・会議を開催できない」、「会場確保ができない」点が多く、3月は「収入減と固定費の支払い」、4月は「会員・一般向けの活動停止」が多かった。特に、3月は年度の切り替え時期に当たり、補助金等の予算で実施を予定していたイベントが中止になったことを受けて返金となるケースがあった。なお、収支の困りごと8件のうちNPO法人からの回答が7件と、NPO法人で収支に関する困りごとが多くなっている。



## 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

(Q3で「いいえ」と答えた方)Q3-3. いいえと答えた理由を教えてください。

	3 月	4 月	合計
有効回答件数	6	0	6
(サービス中止・延期について)関係者の理解があった	2	0	2
自宅で活動ができるから	1	0	1
業務維持が出来る	1	0	1
自分達ができることをするだけだから	1	0	1
会議延期以外に影響がない	1	0	1

困らなかった理由として、関係者から理解を得られたこと、自宅での活動にシフトしていること等の回答があった。

社会的に影響が大きく出ている 4 月には「影響が出ていない」との回答がなかったことから推測できるが、3 月に「影響がない」と回答いただいた 6 件は「影響がなかった」とは限らず、「コロナウイルスの影響が少ない時期に少ない負担で対応することができた」という可能性もある。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

Q4. どのような工夫をして、困難な状況を乗り越えていますか？（もしくは乗り越えようとしていますか？）

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		33	10	43
感染拡大防止の 基礎的対応	マスク、手洗い、消毒、健康管理と正確な情報の収集	5	2	7
収支について	資金援助の申請	0	2	2
	収入増につながる取り組み	1	0	1
活動全般 について	次の取り組みへの備え、自主事業の展開	3	1	4
	活動を継続するための取り組み	3	0	3
イベント・会議の開催	日程の変更・延期	3	0	3
	使用できる会場の検索、会場利用の問い合わせをしている	2	0	2
	総会について、文章による決議を行う	1	1	2
	磁気的方法で総会開催	1	0	1
	インターネット会議、新しいアプリの活用	1	1	2
	人数を制限して話し合いをしている	1	0	1
連絡・情報共有	連絡連携を定期的実施	1	0	1
	電話を活用している	2	0	2
	メール、メーリングリストを活用している	3	2	5
	オンライン、SNS 発信	1	0	1
他者からの協力・理解	関係者からの理解を得る	1	0	1
	他団体の協力	1	0	1
その他	お金で解決できることはお金で解決している	1	0	1
	自宅作業	1	0	1
	活動の中止、静観	7	2	9

まず、3 月、4 月ともに、2 割以上の団体が活動の停止をしている事が分かった。活動している団体は、マスク、手洗いなどの感染拡大防止をしながら、活動継続の取り組み、次の活動への準備を行っている。会議や連絡は、メールやインターネット会議などが活用されている。長期化に伴い資金面での課題が顕著化すると予想され、助成金の充実や、相談先の充実が必要である。

**Q5. 今回の対応について、スタッフとはどのような方針を共有していますか？**

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		22	7	30
活動の休止	活動の休止	8	2	10
感染拡大防止の 基底的対応	会員、参加者の健康確保優先	6	0	6
	すべての関係者への感染防止を務める	3	2	5
	3 密を避ける、各種の宣言・対策に従う	2	3	5
その他	4 月以降に会場が利用できる／できない場合の両方を準備	1	0	1
	寄付を集めて乗り切る	1	0	1
	できることを少しずつやっていく	0	1	1
	特になし	2	1	3

まず、活動の休止が 10 件と多くを占めている。活動を存続している団体は、健康確保の優先、感染防止策の実施に努めるなど、自粛要請に従った活動を行うような方針共有がなされている。

**Q6. 参加者・利用者などの支援対象者がいる場合、どのようなご案内をしていますか？**

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		18	9	27
イベントや利用者向けサービス等の中止・日程変更・再開の条件等		10	3	13
活動しているサービス等の案内(電話・メールでの相談対応など)		0	2	2
感染拡大防止の対応等の説明		2	1	3
いつでも来てください、と案内		1	0	1
大学や訪問介護等で、利用者グループ側の代表と相談		2	0	2
寄附や年会費支払い等による支援の依頼		0	2	2
案内の準備中、まだ具体的に行動をしていない		1	0	1
特になし		2	1	3

支援対象者への案内は、中止・日程変更・再開の条件などの案内を出しているのが約半数で、3 月、4 月ともに多いが、その割合は下がっている。一方、活動しているサービスの案内をする団体が 4 月には増えており、コロナ対応の中でできる各団体の役割を模索している様子が伺えた。

Q6-2.そのご案内に対して、参加者・利用者などの支援対象者からはどのような反応がありましたか？

	3 月	4 月	合計
有効回答件数	22	9	31
受容的・協力的な反応	12	4	16
反応がない、分からない	7	3	10
早い再開を希望	0	1	1
非常に残念	0	1	1
代替イベント等への問い合わせがある	1	0	1
継続しているサービスなどについて、支持を得ている	2	0	2

参加者・利用者からは「受容的・協力的な反応」が最も多く、「反応がない・分からない」と合わせると 83%を占める結果となった。「早い再開を希望」「非常に残念」などの声も団体に届いている。

また、事業を継続している団体には、その継続しているサービス等に対する問合せや支持があった。

一方で、理解を得られないようなケースは、回答からは見られなかった。

Q7. 団体にとって、今後、どのような影響があると予想されますか？

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		29	10	39
団体の活動ができない	総会ができない	2	1	3
	予定が立たない	3	1	4
	計画変更	1	0	1
	イベント等ができない、参加できない	4	2	6
団体の人材面への影響	引き継ぎできない、スタッフの確保・育成できない	3	1	4
団体の金銭面での影響	収入減・経営が厳しい	3	3	6
	会費の増額による補填	1	0	1
	会費の払い戻し	0	1	1
利用者への影響	利用者側の参加意識低下	7	3	10
	利用者へのフォローアップ	1	0	1
	利用者ニーズ増加、対応しきれない	1	1	2
その他の影響	活動再開の判断が難しい	0	1	1
	団体の露出度低下	1	0	1
	見当がつかない	4	2	6
	影響なし	2	0	2

多くの団体が、団体の根幹的な部分への影響があると予想している。活動の予定を立てたり、その予定を決定したりすることができない(総会が開催できない)ため、活動そのものが滞っている。また、「引継ぎができない」や「スタッフ確保できない」などの人材面への影響もある。特に NPO 法人では、収入減少による金銭面の懸念が多い。

また、利用者への影響を懸念している団体も多い。利用者側のモチベーションの低下や、利用者の技術力低下(学んだことを忘れてしまうなど)に影響があると予想しており、活動再開後も利用者離れが続くと懸念している団体も多い。

一方、福祉分野の団体では介護や相談等の利用者ニーズが増えており、対応しきれなくなると予想している団体もある。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

Q7-2. それに対して、どのような対策を講じていますか？または講じようと考えていますか？

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		27	10	37
感染拡大防止の 基礎的対応	マスク、消毒の徹底	1	0	1
平時の活動の 継続・強化	平時以上の特別な活動をする	2	0	2
	平時の活動を継続する	2	0	2
延期	イベント・会議の延期	2	1	3
人数制限	人数制限・個別での活動へシフトする	3	1	4
連絡体制の強化 IT を活用した対策	連絡体制の強化	3	1	4
	IT を使ったイベント開催	1	0	1
	インターネット会議の実施	1	0	1
	IT を活用した情報発信	1	1	2
金銭的な対策	コスト削減	2	0	2
	支援金等への応募申請	0	2	2
対策を 立てられない	対策立てようがない	1	1	2
	検討中・これから考える	5	2	7
	分からない	2	1	3
	前向きに活動する	3	0	3
	特にない	0	1	1

4 割以上の団体が具体的に対策を立てることができていないという結果となった。活動自体については、活動の延期、人数を制限して活動を行う、IT を活用するなどの意見があった。金銭的な対策については、3 月はコスト削減が主であったが、4 月は支援金などの応募申請にシフトしている。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

Q8. 団体が今後必要と考える、今回の件に関するサポート内容についてご記入ください。

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		22	6	28
市民活動支援施設から 受けたい支援	センターの業務継続	0	1	1
	会議室・活動場所の提供	4	0	4
	相談対応	1	0	1
	補助金等の申請支援	2	0	2
	対策マニュアル作成支援	1	0	1
	安全に使用できるまで中止	0	1	1
	無し・印刷代行等の活動の継続	2	1	3
行政等から 受けたい支援	情報提供してほしい	3	0	3
	マスク・消毒液の配布	1	0	1
	公民館(平時の活動場所)の開放・問合せ対応	2	0	2
	補助金等の支援	0	1	1
IT に関する支援	インターネット会議の導入	1	0	1
	動画編集・配信方法	0	1	1
	無し	6	0	6
	分からない	0	1	1

市民活動支援施設から受けたい支援は、会議室・活動場所の提供の要望が最も多かった。場所の提供以外に、コロナ対応関連補助金等の申請支援、相談対応などの要望があった。センターへの支援についての要望がない回答者 3 名のうち 2 名からは、センターで印刷等の作業を代行していることを高く評価していただいた。

行政等から受けたい支援は、情報の提供、活動場所の開放、補助金等の支援が挙げられた。

また、インターネット会議の導入、動画編集・配信など、IT 活用に関する支援希望もあった。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

Q9. 行政や助成団体などの他組織へのご要望があればご記入ください。

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		23	8	31
コロナ関連の情報提供	早い情報の提供、発信内容やタイミングの改善	1	1	2
	感染予防方法などの情報の公開	1	0	1
	感染発生場所や感染経路などの情報の公開	1	0	1
感染防止の基本的対策	消毒液の配布	0	1	1
平時と同じ活動の継続	行政の窓口業務の維持	0	1	1
	行政の事業の実施	0	1	1
	平時通りの活動の支援	2	0	2
活動継続の支援	行政はどうやればできるか一緒に考えてほしい	1	0	1
	インターネットの活用	1	0	1
期限延長	行政への提出書類の期限延長	1	0	1
経済的な支援	助成金の助成、助成対象期間延長	3	4	7
	委託事業等の減額回避、損失補填	1	0	1
活動制限の緩和	少人数での活動の解除	1	0	1
	センターの柔軟な利用(自己責任での利用の検討)	1	0	1
	行政施設の開放	1	0	1
終息後の支援	終息後の活動の支援	1	0	1
	感染者が出ないような施策の実施	1	0	1
	早く収束してほしい	1	0	1
	なし	5	0	5

最も多い要望は「助成金の助成、助成対象期間の延長」であった。3 月から 4 月にかけて割合も増えており、半数の団体が助成を要望している。その他、コロナ関連の情報提供、平時と同じ活動の継続、活動制限の緩和など、幅広い内容の要望が挙げられた。



新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

Q10. その他今回の新型コロナウイルス感染拡大について、団体として気になっていることなどをご記入ください。

		3 月	4 月	合計
有効回答件数		26	9	34
団体の活動 について	活動できない期間が延長される可能性	4	2	6
	利用者の健康・利用者が感染していないか心配	3	3	6
	自分たちの活動がクラスター感染源になるリスク	0	2	2
	利用者離れ・利用者のモチベーション低下	3	0	3
	感染防止しながらの活動方法の模索	2	2	4
	関連団体等を含めた全体でのサービス低下	2	0	2
	人材・スタッフの確保	2	0	2
	経済的な面	1	0	1
	スタッフの心労などの疲弊	1	0	1
	団体の解散のリスク	0	1	1
感染拡大の全般 について	消毒などの徹底が必要	1	0	1
	ワクチン開発	1	0	1
	早く収束してほしい	1	0	1
	感染者・死亡者の発生	1	1	2
行政の対応 について	正しい情報を早く提供してほしい	3	1	4
	行政に積極的な対応策を実施してほしい	1	0	1
	一律規制ではなく個々の責任で活動するべき	1	0	1
	特に無し	3	0	3

「活動できない期間が延長される可能性」と「利用者の健康」を気にしている団体が多かった。期間延長を気にするのは任意団体が多かったが、利用者の健康は任意団体と NPO 法人とが半々であった。利用者の健康を気にする理由の多くは「利用者に高齢者や福祉関係者が多い」からであり、また、「自分たちの活動がクラスター感染源になるリスク」について危惧する団体もあった。その他に、利用者離れ・利用者のモチベーション低下、感染防止しながらの活動方法の模索、サービス低下、人材・スタッフの確保、団体の解散のリスクなどが挙げられた。



新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う  
アンケート調査 別添資料  
自由記述回答データ

令和 2 年 5 月 24 日  
藤沢市市民活動推進センター

**Q2. どのような対応を行っていますか？その内容をご記入ください。**

**【3月集計】**

- ・ 年4回発行の会報がたまたま3月だったために作業の場所が確保出来ず。有料の民間施設を借りた。
- ・ 雑学は、3月の定例講座を開催を模索するも中止とした。(内部の必要な会議は開催)町内会は、総会準備できず(組長会の中止、総会資料の作成)延期
- ・ 少人数の打ち合わせに限り、レストランなどを利用している
- ・ 推進センターを会場とした学習会ができなくなり、メーリングリストでの情報交換を頻度を上げて発信している
- ・ 再開できるのを待っています。
- ・ 理事会に集合することを中止し、メールでの情報交換と意見集約を行う予定。
- ・ 訓練の中止
- ・ 電話、メールでの対応
- ・ センターの利用不可の連絡を受け、直近の会議開催(3月)は、取り敢えず、利用できる他の会場を探した。その後の会議等は、当分の間、延期・中止とする予定である。
- ・ 会場のアルコール消毒、機器の消毒、会合の中止
- ・ 特になし
- ・ 講座の中止
- ・ 自宅学習
- ・ 手洗い うがい
- ・ 社員全員マスク着用、アルコール消毒励行、会議の中止
- ・ 活動・会議の延期。会議・打合せをアプリを活用して実施。
- ・ 3/1に藤沢宿祭りを実施する予定であったが、コロナウイルス感染防止への対応の2/20厚労省のメッセージおよび2/25の藤沢市の市主催のイベント等延期、中止のメッセージを受けて、旧東海道藤沢宿まちそだて隊として検討してすべてのイベントの中止を決定し、全てのイベントの関係者、参加申込者へ連絡してすべてのイベントの中止をご理解いただいた。
- ・ 年度末の会議が開けない。会長が新年度役員を依頼する家を一軒ずつ訪問している。
- ・ 活動の自粛(教室の休止)
- ・ 年度末の理事会(70人程度参加予定)が中止になったので次年度登録の書類を郵送で集め、登録料は後日、集まれるようになった時とした。理事会当日全員でお弁当を食べる予定だったが、やめてQUOカードを配ることにした。申し込みしていた他市の大会が全て中止になり、参加料が返金されてきているので、参加申し込みしていた人に後日集まった時に返金予定。役員(11名)の話し合いはどうしても必要だったのでミナパークの会議室を借りて行った。4月開催予定だった当卓球協会レディース部主催の大会を5月下旬に延期した。
- ・ メール、電話にて問合せ、Webにて調査
- ・ 利用者に向け出来る範囲を協議し、できることを実施。消毒アルコールを飲食業の方を通じて、購入。日頃、時間がなくてできなかったことを、職員から聞き、対応に向けた。在宅勤務、休業補償を検討した。
- ・ 現在、全ての活動(子ども食堂、中学生英語教室、ボランティア事前説明会等)は、一旦、休止としています。
- ・ 休校対応で、無料で教室の開放を実施。
- ・ 利用者宅を訪問するサービスが主な業務なので手洗い咳エチケットを徹底してできる限り通常通り業務を行っている。
- ・ 現時点では会議の延期
- ・ イベントの順延。電話等による受益者への追加対応。代替イベント(屋外活動)の開催ほか。
- ・ 開催予定のコンサートを動画撮影し、SNSで発信する方法で対応することになりました。
- ・ 所属する高校生以下の活動を2月28日～3月15日まで全て休止、3月16日以降も通常のフットサルスクール以外の活動、いわゆる対外試合等の活動を全て休止。収入減少に関しては各金融機関にご相談させていただいています。
- ・ 会議を中止あるいは、テレワークにした。また、web会議に変更した。事務所当番の時間を短縮した。
- ・ 会議はZOOMを使用し、自宅で行なっている
- ・ 中止の連絡を入れた・SNSで中止のお知らせを入れた
- ・ メール等で打ち合わせを行っている。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

### 【4月集計】

- ・ テレワークでの活動
- ・ 全ての活動とイベントの中止・会員同士の接触禁止
- ・ イベント中止のお知らせをした。会議をビデオチャットに変更した。
- ・ ネットを利用、HP の活用、メールによる会議・情報交換
- ・ センター利用不可の状況を勘案し、当面、会議等の開催を中止・延期する予定である。
- ・ ミーティングは Zoom を使って行い、固定経費のやりくりで役員の前年会費など集めた
- ・ 開催講座の中止（講座会場が市民センターのため）
- ・ 藤沢エビネやまゆり園の入園中止（4月12日から5月6日）
- ・ 今のところ偶々筆記通訳利用の依頼はありませんが、年度初めの為、総会準備をメールと郵送で進め、近々推進センターで印刷していただいて総会開催の代わりに郵送する予定です。
- ・ 活動を停止している

### （Q3で「はい」と答えた方）Q3-2. どのようなことが困りましたか？

### 【3月集計】

- ・ 前述のように作業場所を変えたために600通近いゆうメール契約の郵便局に出せなくなり普通郵便で出さざるを得なくなり、費用がいつもより増えた。
- ・ 雑学；講師との中止調整、会員・一般市民への中止告知。町内：準備会議、印刷ができず
- ・ センターのロッカーに保存中の備品の棚卸ができない
- ・ 顔を合わせての学習会、会議ができず、意見交換が十分できない
- ・ 活動を停止しています。
- ・ 会議の開催、会計監査作業の時刻変更（混雑時の交通機関の利用を避けるため）
- ・ 活動場所（会議開催等）の確保
- ・ 収入がまるでなくなった。出張講座など家賃経費が出せない。
- ・ 会議・会合場所の確保
- ・ 会員が760名のため中止の連絡手段、方法等
- ・ 助成金のワークショップができなくなり、子どもたちが待っているにも関わらず開催できなかった。また助成期間の延長が認められないことで、資金にも影響が出た。
- ・ 会議・打合せ時にアプリに不慣れなために、起動が思うように出来なかった（特定のアプリは使用実績は有りますが、関係者全員の使用環境を考慮しての使用経験のないアプリを使わざるを得ず、初期対応に苦慮した）。
- ・ 年度末のまとめ、新年度の準備が決められない。
- ・ 支援対象の学習者への、教室の休止の連絡が全員に確実に伝わったかどうか分からない。
- ・ 活動場所の確保。
- ・ 担当者に面談でコンタクトできない
- ・ 収入の減少。
- ・ 3月6日（金）より月末まで、突如、Fプレイスを含めた市内公共施設が休館となったため、活動場所がなくなりました。
- ・ マスクの入手が困難で在庫も少なかったためメンバーにも優先順位を付けて配布した。
- ・ 活動場所が確保できない。減収により調達予定の活動用高性能PCの購入が困難になる。
- ・ 作業スペース、印刷は基本推進センターで行っていたので、利用できないのは少し不便だった。
- ・ スタッフのシフト調整や休業補償選手やスタッフの安全を確保しながら活動ができるかどうかの判断の難しさ。
- ・ 収入減となっていると思われるが、まだ詳細は分からない。
- ・ 4月始動を考えていたため、具体的ではないが、相談できる相手が少なく、団体としての動きに不安がある
- ・ 活動の場の確保・減収・予定が全く立たない
- ・ 当初予定の通常総会開催日を延期した場合の代替場所の確保

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査

### 【4月集計】

---

- ・ 事業活動と収益事業の停滞
- ・ 固定経費の支払い
- ・ これから総会が控えていて、対応に困ってます
- ・ 会場閉鎖による定期講座の中止（会員への連絡、講師との調整）  
保存活用活動の延期
- ・ 活動の軸が「交流会」なので、活動がほぼできなくなっています。
- ・ 入園者数の激減、スタッフのシフト調整
- ・ 理事会の開催中止、監査日程調整
- ・ 集まる場所が閉鎖となり会って話し合うことができない。
- ・ 活動場所の確保
- ・ 学習者への活動停止の連絡テレワークでの活動

### （Q3で「いいえ」と答えた方）Q3-3. いいえと答えた理由を教えてください。

### 【3月集計】

---

- ・ 保護者の方の理解があった
- ・ Q2に記載したようにすべての関係者への連絡しご理解いただいたので「いいえ」の回答としました。（Q2）3/1に藤沢宿祭りを実施する予定であったが、コロナウィルス感染防止への対応の2/20厚労省のメッセージおよび2/25の藤沢市の市主催のイベント等延期、中止のメッセージを受けて、旧東海道藤沢宿まちそだて隊として検討してすべてのイベントの中止を決定し、全てのイベントの関係者、参加申込者へ連絡してすべてのイベントの中止をご理解いただいた。
- ・ 利用する人は、大変困ったでしょうが、こちらはそれほど、困ったということはない
- ・ メンバーによる会議の延期のみで影響はほとんどなし。メール等で打ち合わせを行っている。
- ・ 自宅でこれまで習ったことをゆっくり家で復習できるから。

### 【4月集計】

---

※0票

**Q4. どのような工夫をして、困難な状況を乗り越えていますか？（もしくは乗り越えようとしていますか？）**

**【3月集計】**

- ・ 非常事態なので、経費がかさむのはやむを得ず、できるだけお金で済むものはそういう対応をしている。
- ・ 会場が市施設を使用しているので、施設の使用開放がないと講座は開けない。見合わせ中。町内は、総会の延期期日を調整中
- ・ 場合によっては、総会に代えて文書による決議を行う
- ・ メーリングリストの活用、電話や一対一面接での対話
- ・ 自宅に引きこもりです。
- ・ メールを活用
- ・ 静観のみ
- ・ 特になし
- ・ 当分の間は、新型コロナの感染の動向等を見ながら活動(会議開催等)を考えていきたい。
- ・ 新たに新年度を迎えていいイベントを企画すること
- ・ 会議・会合場所の代替場所を確保
- ・ 収束に向かう時期を待つ
- ・ 先ず自己健康管理。デマに振り回されないよう過ごす。
- ・ 自主事業を展開中です
- ・ 決めたことを守る(マスク着用、手洗い励行、アルコール消毒、会議中止など)。
- ・ 国難を一日も早く乗り切るために、感染を未然に防ぐためにも、延期できるものは延期し、会議・打合せが必要なものはアプリを活用して実施する。
- ・ 全般的には今回のコロナウィルスの感染防止に対してイベントへの参加者・協力者等のすべての関係者が個人個人の健康の問題であることと感染防止へのご理解をいただいていたことが大きいと思います。
- ・ Q2 の答えに同じ (Q2)年度末の会議が開けない。会長が新年度役員を依頼する家を一軒ずつ訪問している。
- ・ 電話、メール等を使用して学習者に連絡をしています。ホームページでも告知しています。
- ・ 実技に関しては諦めている。卓球の大会や練習などは会場が使えない状態なのでどうしようもない。
- ・ ひたすら会場が使えるようになるのを待つのみ。
- ・ 通信手段が最高ですね。
- ・ 収入増に繋ぐ取り組みを実施
- ・ 運営マニュアルの整備など、これまでの取組みを棚卸の上、次に、備える期間とする予定です。
- ・ 経営よりも、子どもたちとその家族を中心に考える。
- ・ 収束がいつになるのかわからないのでできるだけ冷静に対応するよう話し合っている
- ・ 現在は様子見の段階…8月のワークショップ&11月のイベント開催の予定が実施できるか？
- ・ 利用者や団体会員から意見を頂き、出来る限り、活動を閉ざさないように努めている。
- ・ 自宅作業やコンビニエンスストアを利用して。また協力団体さんに動画撮影に協力してもらいながら乗り越えようとおもいます。
- ・ 常に情報を集めながら、感染しやすい環境を避けながら活動する工夫をしていきたいと思います。
- ・ 会員が状況を十分把握して、対応して行く。
- ・ 滞らないよう、団体内での連絡連携を定期的に行う
- ・ できる範囲でオンラインや SNS 発信
- ・ 電磁的方法で通常総会を開催したいと考えている。

**【4月集計】**

- ・ 中小企業向け支援と同様の NPO 向けの資金支援への申請(そのような制度があれば)
- ・ 活動はボランティア系なので、活動を中止にして感染防止対策をしています
- ・ 動画の web 公開を検討しています。
- ・ メール、ネット会議
- ・ 当面、新型コロナウイルスの感染の動向、政府・自治体(藤沢市)の取り組みを見ながら、今後の活動(会議等の開催)を考えていきたい。
- ・ 居場所を維持するための借り入れを申し込んだ
- ・ 会場の閉鎖解除待ち(県、市の施設を使用のため)、会員への協力要請
- ・ 3密を守り、スタッフにはマスクを使用、アルカリ洗剤を入園前後に塗布
- ・ Q2 で回答した通りです。(Q2)今のところ偶々筆記通訳利用の依頼はありませんが、年度初めの為、総会準備をメールと郵送で進め、近々推進センターで印刷していただいて総会開催の代わりに郵送する予定です。
- ・ ホームページでの学習者への連絡。支援者の打ち合わせ・連絡はメールを使い、会議をしない。



**Q5. 今回の対応について、スタッフとはどのような方針を共有していますか？**

**【3月集計】**

- ・ 前述の対応に理解をして貰うよう努めている。(Q4)非常事態なので、経費がかさむのはやむを得ず、できるだけお金で済むものはそういう対応をしている。
- ・ 新型コロナウイルス対応への行政指針に準じた会員、参加者の健康確保優先
- ・ メール、電話で共有するよう努めている
- ・ 各自の自己研修を進める
- ・ メールや電話です。
- ・ HP の活用
- ・ 協力的
- ・ 特になし
- ・ 当分の間は、活動(会議開催等)を中止することとしている。
- ・ 寄付を集めて乗り切る事を考えている
- ・ なし
- ・ 参加されるお客様ファースト
- ・ 3月は活動停止。
- ・ 当面は公益活動を自粛して、自主事業に力を入れていく
- ・ スタッフ全員 Q4.回答内容を共有。(Q4) 決めたことを守る(マスク着用、手洗い励行、アルコール消毒、会議中止など)。
- ・ 参加者・協力者等すべての関係者への感染防止に努めることと各個人個人への感染防止で
- ・ すべての関係者の健康を守ることを共有。
- ・ 個別意見交換
- ・ とりあえず、今月いっぱい休止という方針を共有しています。
- ・ 4月以降の活動について、会場が利用できた時とまだ利用できない時、両方を考えて準備している。
- ・ できるだけスタッフの権利は尊重するが、協力してほしい。
- ・ 日頃より、運営の基本方針に据えている“無事に来て、無事に帰る”の原則に立ち返り、当面、「休止」としました(3月1日)。その上で、厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」(2月25日)、あるいは、他市町村では子ども食堂に開催の中止要請を出している事例(こども食堂ネットワーク経由の情報)を共有化して、理解を得ました。
- ・ 子どもたちとその家族を中心に考える。安心と安全基地の確保。変わらない場所。
- ・ 発熱などの体調不良がある時は早めに事務所へ連絡し、利用者の観察もしっかりする
- ・ 来年度のスケジュールを具体的に決められないのをどうするか？について同じ認識になっている。
- ・ 国・市(平塚)の感染症対策情報の共有と今後の活動内容やスケジュールの確認。
- ・ コロナが終息するまではイベント自粛する
- ・ 安全確保を最優先に、工夫しながら活動していこうと話をしています。
- ・ 専門家会議の資料など、情報共有している。
- ・ 具体策はまだ話し合い中
- ・ クラスターと言われるのが何よりも困るので落ち着くまでは活動を休止

**【4月集計】**

- ・ ウィルス対策の徹底
- ・ なるべく接触を避け、メールや携帯電話で対応してます
- ・ できることを少しずつやっていこうと 相談しています。
- ・ 各種の宣言・対策に従う
- ・ 当面、活動(会議等の開催)を中止・延期することとしている。
- ・ 1日も早い再開を望んでいます
- ・ 過去 20 年間一回も中止したことがない講座を中止した。がやむなし…
- ・ 3 密を守り、1 人ひとりの行動や心がけて感染拡大防止に向けて取り組んでいます
- ・ メールにて連絡しあい、メールと郵送の方針を共有しています。
- ・ 特になし



**Q6. 参加者・利用者などの支援対象者がいる場合、どのようなご案内をしていますか？**

**【3月集計】**

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メールで連絡出来る人には極力メール連絡をし、それ以外は手分けをして電話連絡。</li> <li>・ 会員への中止、延期案内(郵送書類、回覧書類)</li> <li>・ 活動再開を待ってもらってます。</li> <li>・ ラインやホームページで</li> <li>・ 特になし</li> <li>・ 昨今の新型コロナウイルス感染防止につき…と HP やメールで案内した</li> <li>・ 「新型コロナウイルス感染拡大防止のため当面会合を中止する」とメールで連絡</li> <li>・ 毎回の配布資料に次回以降 6 カ月間の講座の月日を記載</li> <li>・ 2月に問題が出た時、3月の学習休止を電話で知らせました。</li> <li>・ 先方より訪問禁止です</li> <li>・ 国・県・市が決めた感染予防対策を遵守する旨を案内しています。</li> <li>・ 学生には大学の方針を理解し、協力するように伝えている。</li> <li>・ 出来るだけ詳細なすべての情報を共有することができるようにしている。</li> <li>・ 最後の授業の時に、「コロナウイルス感染症の影響で 3 月は授業がありません。」と案内しました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファックス連絡網を使い、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場が使えないので行事など中止の旨、会員全員に知らせた。</li> <li>・ ホームページや郵送する機関紙等で情報提供。</li> <li>・ 新年度を前に、保護者へ「会員登録更新」の案内をする機会があったため、今後は、安全、安心の環境が整ってから、子ども食堂を再開したい旨を伝えました(3 月 15 日)。</li> <li>・ 通常通り。ウェルカム！</li> <li>・ 問い合わせがあれば、メンバーの体調管理やマスク着用手洗い励行などを伝えている。</li> <li>・ まだ、具体的にはアクションをしていない…ただし、例年、この時期には同様な状況なので、現時点では問題なし。</li> <li>・ ホームページ、ブログ、メール、LINE や電話等を活用し、案内を行っている。</li> <li>・ 出演者には個別で電話対応しています。</li> <li>・ 個別に連絡している。</li> <li>・ 特になし</li> <li>・ 現在、予定はしているが情勢によっては変更がある趣旨を伝えている</li> <li>・ 中止などの連絡は出来るだけ早めの対応を心がけている。</li> </ul> |
|--|--|

**【4月集計】**

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウィルス対策として地域出張活動は自粛中</li> <li>・ ボランティア参加者に感染防止対策としての案内をしています</li> <li>・ 電話やメールで、相談には応じています。</li> <li>・ 特になし</li> <li>・ 月毎に現状が収束に向かって車での閉室を公示しています</li> <li>・ また支援いただける方々へ寄付のお願いを公示しています</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員全員(年会費)への説明を、FAX、メール、手紙で連絡</li> <li>・ 園が休園中ですので、特にありません。</li> <li>・ 困ったことがあればご相談くださいとメールと FAX で連絡しています。</li> <li>・ 学習者へはホームページ・電話等を使って活動中止を知らせている。</li> </ul> |
|--|--|

**Q6-2.そのご案内に対して、参加者・利用者などの支援対象者からはどのような反応がありましたか？**

**【3月集計】**

---

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| ・ 概ね仕方ないという反応。                   | ・ 冷静に受け止めて下さいました。                                 |
| ・ 理解は得られたと思うが、期待して頂いた会員からは残念の感想。 | ・ この時期、みなさん理解してくださり指示通りに行ってくれた。                   |
| ・ 皆さん、静かです。                      | ・ 印刷代行に関しては、大変満足度が高い。                             |
| ・ 特になし                           | ・ 保護者からは前向きにご理解を受け、その結果として、順調な更新手続(活動継続)に繋がっています。 |
| ・ 特になし                           | ・ これからかと。   |
| ・ ほぼ全員が受容                        | ・ 問い合わせ自体がほとんどない                                  |
| ・ 大変好評です。                        | ・ 実施する代替イベント等への参加可否、実施内容の確認等の反応がある。               |
| ・ 協力的で電話連絡の手伝いもしてもらいました。         | ・ 状況的に仕方がないとおっしゃっていらながらも残念そうでした。                  |
| ・ わかりません                         | ・ 世界的な課題であり、仕方がないという反応                            |
| ・ 特にありません。賛同されていると思います。          | ・ 理解はしてくれている                                      |
| ・ 特に反応はない。                       | ・ 協力的であった   |
| ・ よくわかったとかよく理解できたとかの反応あり。        |   |

**【4月集計】**

---

- |                    |   |
|--------------------|---|
| ・ やむを得ない、当然の対応。    | ・ 非常に残念…                                    |
| ・ 理解しています          | ・ 特にありません。                                  |
| ・ おおむねご理解いただいています。 | ・ 仕方がないと受け入れていて、お互い気を付けて過ごしましょうという返信もありました。 |
| ・ 特になし             | ・ 特にありません                                   |
| ・ 早い再開を望まれました      |   |

## Q7. 団体にとって、今後、どのような影響があると予想されますか？

### 【3月集計】

- ・ いつ収束するかが解らないので、今後の予定が立たず、会員への連絡が出来ずにいる。
- ・ 町内会は、組長、役員の引継ぎができず、現役員の任期延期などが発生
- ・ メンバーの学習意欲の低下
- ・ さああ・・・
- ・ 見学会などの計画に対する変更
- ・ 団員の競技活動への参加の可否
- ・ 不明
- ・ 活動結果及び計画等の報告・承認のための処置に困ることとなっている。例えば、定時総会(年1回の開催が必要)の開催の時期を設定できない。また、一堂に会して情報の共有をはかる場所の確保に困る。
- ・ 集客に影響がでると思っている。その分会員が負担する年会費などの値上げを考慮している
- ・ 閉館期間によって影響が変わってくるが、現在の処予測不明
- ・ 開催を希望している方々が多数いる
- ・ 何もないと思っています。
- ・ 事業計画が立てにくい
- ・ 収入減による会社経営の悪化
- ・ 学生のモチベーションの維持に影響がないか心配している。
- ・ 特にはないように思います。
- ・ 予定が立たない
- ・ 4月以降の授業がまだ、決まっていません。授業を休止することで、学習者の意欲低下が心配されます。スピーチ大会が中止になり、準備をしていた学習者のフォローが必要と考えています。
- ・ 4月から体育館や会議室が使えるようになれば新年度、ほとんど影響なく活動していけると思うが、長引けば卓球技術的にも影響は出てくる。
- ・ 収支バランスの悪化。
- ・ 景気の悪化で、自分自身に余裕がなくなり、ボランティア会員および支援者の確保が難しくなると思います。
- ・ 子どもたちが安心して過ごせる。
- ・ デイサービス、ショートステイなどの休止により在宅サービスのニーズは増えるかもしれないが、メンバー不足のため対応は難しい
- ・ コロナの影響が長期化する場合、“イルミネーション湘南台2020”が実施できるか？を懸念している。
- ・ 参加人数の減少(居場所、個別相談・訪問支援等)による減収
- ・ イベントができないとそもそも活動が停滞してしまう。
- ・ フットサルスクールにおいて、新規会員の減少や退会者の増加など収入の減少を予測しています。また、地域との協働事業においても中止が増え、クラブの露出減少を危惧しています。
- ・ 現状では不明
- ・ 取材を主とする団体であるため、感染症対策を具体的に講じないと活動ができない
- ・ 通常総会開催の遅れ、税務申告、事業法徳書の提出等の遅れ

### 【4月集計】

- ・ 事業活動と収益事業の停滞、資金繰りの悪化
- ・ 会員の士気の低下
- ・ 相談者のお困りごとに対応しきれない。
- ・ 活動結果及び計画の報告・承認のための処置に困っている。例えば、定時総会(年1回)等の開催を設定できない。また、一堂に会しての情報意向観・情報の共有をはかる場所の確保に困っている。
- ・ この期末決算を行い、期首のイベント企画などに対応する対策など未確定なことが多く対応が困難かと思われます。それによる収入源が乏しくなっています
- ・ 環境フェアなどへの参加停止
- ・ まだ、いつまで続くか解らないので、予想できない。年会費の戻しなど？は要検討。
- ・ 入園者数が激減し、経営がきびしくなる。
- ・ どの位この状態が続くのかかわからないので見当もつきません。3月の市の要約筆記体験会が中止になり県の養成講習の紹介ができなかったことを残念に思っていたが、その養成講習も延期になっているので、要約筆記者の養成が滞ることが懸念されます。
- ・ 活動開始の判断が難しい。活動中止の長期化により、開始しても学習者が集まるか心配している。

**Q7-2. それに対して、どのような対策を講じていますか？または講じようと考えていますか？**

**【3月集計】**

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のところ何とも対策の立てようがない。</li> <li>・ 町内会は現役員への了解、ひき継ぎの個別実施</li> <li>・ 個別のスーパービジョンなどにより、学習意欲を高め、ケースワークの質低下を防ぐ</li> <li>・ いつ再開できるか、ですね。対策はこれから考えます。</li> <li>・ 検討中</li> <li>・ 競技が開催される場合は特別訓練の実施</li> <li>・ 不明</li> <li>・ 定時総会の開催を延期せざるを得ない。また、他の会議等については連絡体制を利用して相互に情報の共有化を図らざるを得ない。</li> <li>・ 役員として先頭に立ち値上げ、質の向上、個人的相談対応などを心掛けている</li> <li>・ 現在の処未検討</li> <li>・ 出来るだけ前向きに開催方法を考える。</li> <li>・ コロナの状況次第になります</li> <li>・ コスト削減…活動が低迷するので結果的にコスト減になるが、それ以上の削減必要。</li> <li>・ 学生との連絡はメール等で密にとることを心がけている。</li> <li>・ オンラインや SNS 発信しか思いつかない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再開にあたって、いかにスムーズに学習者に連絡を取るか、だと思います。会の中で準備したスピーチをしてもらおうと考えています。</li> <li>・ 協会としては活動再開できたら技術向上など行事にいつも以上に力を入れていかなくてはと考えている。</li> <li>・ 人件費以外の費用の節約。</li> <li>・ 当面、資金面では、3 年分程の余裕があるため、有効な活用方法を検討していきたいと考えています。</li> <li>・ 今、出来ることをする。</li> <li>・ 常にメンバー募集を行っている</li> <li>・ 現時点では、具体的な対策を考えられない状況であるが、長期化した場合には、今年度の活動を見送り・中止ということがあるかもしれないとは考えている。</li> <li>・ 代替イベントの考案、会場を確保した上で、個別相談等を実施する計画がある。</li> <li>・ 演奏風景を撮影して発信</li> <li>・ 新規入会キャンペーンなども検討していますが、まずは状況が改善しないと中々キャンペーンを大々的に告知していくというのは難しいと感じています。対策は検討中となります。</li> <li>・ マニュアル化とともに、団体としてのマスクの確保や消毒なども徹底しなくてはならない</li> <li>・ 電磁的方法による開催を模索している。</li> </ul> |
|---|---|

**【4月集計】**

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業と同様の資金支援事業やテレワーク推進事業があれば、該当事業に申請</li> <li>・ メール等で状況や情報を送ってます</li> <li>・ 今後もできるだけ、個別のご相談には応じてまいります。</li> <li>・ これから理事・監事と検討</li> <li>・ 定時総会の開催を延期せざるを得ない。また、非効率率ではあるけれども、緊急を要するような事案については、連絡体制を利用して相互に共有をはかることを考えざるを得ない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り急ぎ日本政策金融公庫の借入れが可能となる事、講座などの再開を対策しています</li> <li>・ 現状では具体的な対策はなし。講師には延期後のお願いもしている。</li> <li>・ 入園者数の増加で来る対策を検討中です。</li> <li>・ わかりません。</li> <li>・ 特にありません</li> </ul> |
|---|---|

**Q8. 団体が今後必要と考える、今回の件に関するサポート内容についてご記入ください。**

**【3月集計】**

- ・ 兎に角今回は県内の公共施設が軒並み閉鎖となり、会議や作業の場所の確保がとても難しかった。民間(有料)はやっているのだから、公共施設も閉鎖するのではなく、利用者の自己責任において、使用できるようにもっと柔軟な対応ができるとよかったのでは。
- ・ ありません
- ・ 国や県、市の方針に従うだけです。藤沢市は茅ヶ崎市や鎌倉市より遅かったですね。
- ・ ネット会議システムの導入
- ・ 内閣府からは自粛の連絡ばかりで詳細情報が来ない、もっと情報を！
- ・ ネットを使ったサポートを考えていきたいが、パソコン自体が起動しないというサポートには応じられないので、サポートの範囲が限られますね。
- ・ やむを得ない状況であり、特に、センターに対する要望はない。早く新型コロナの問題が解消することを強く願っている。
- ・ 個別相談や出張対応など、会場や集会を基にしない企画を優先
- ・ 状況を見極めながら早期の開館(会議室等施設の貸し出し)を希望する
- ・ 山を越えるまで待つしかありません。
- ・ 特になし 何もできない状況です
- ・ 妥当と思います。
- ・ 学生団体とは連絡を蜜に取りつつサポートしたい。
- ・ 推進センターだけでなく、公民館の会議室利用の開放が必要。
- ・ 公民館での活動なので、学習者の公民館への問い合わせ等に対応してもらいたいです。
- ・ 特になし。推進センターさんも印刷代行などやってくださっているので年度切り替えのこの時期、とても助かります。ありがとうございます。
- ・ 大きく災害というくりに考えた場合、できるだけ早く、正確な情報を届けるはいつも必要と考えています。
- ・ 特には、ありません。現在の状況が長引いた場合、再開には、ボランティア会員を揃えたりする都合、一定期間は要するかと思います。ただ、日頃から、固定費等は掛からないように、コンパクトな運営を心掛けてきましたので、資金が減少する心配などはありません。
- ・ とくになし。
- ・ 十分な数のマスクと携帯用消毒液の配布
- ・ 賢首展では、特になし。 ※現時点では、特になし。
- ・ 国や市などから発信される感染症予防対策に関する最新で、正しい情報提供
- ・ ご相談にのっていただけたことはとてもありがたかったです。
- ・ 補助金や助成金、クラウドファンディングに関しての情報が必要だと考えます。
- ・ マニュアルなどを作成する際のアドバイスなど
- ・ 私、個人としては精一杯やっていると考えています。
- ・ もし、そこより更にサポートを受けれるとするならば、フリーランスの保障(?)の際に、必要かわからないが、会場を借りていたや実際、活動を普段しているなどの証明書のような物が必要になった時に協力して頂きたい。(求められてる答えになってるでしょうか?)
- ・ 再度、貴センターが閉鎖になった場合、膨大な総会資料の印刷と綴じる場所の確保
- ・ 特にはないと思います。

**【4月集計】**

- ・ 中小企業対策と同等の資金支援策やテレワーク推進補助金
- ・ 沢山あります
- ・ 生配信のやり方、動画編集のやり方がわかる講座があるといいですね。
- ・ 支援センター業務の継続
- ・ やむを得ない状況であり、特に、センターに対する要望はありません。このような中であって、センタの職員のみなさんが、印刷の代行や電話によるいろいろな相談受付などに努力されていることに大変感謝しております。新型コロナウイルスの問題が早期に解消し、これまでと同様にセンターを利用できるようになることを強く望んでいます。
- ・ 個別相談対応を重点的に活動したい。有償ですが個人の対応に対し丁寧な結果を増やしていきたい。それがかなり収入となりうると考えています
- ・ あらためてイベントの企画を練ります
- ・ 今回は、命に関わることなので、活動を優先するなどできない。
- ・ 自粛解除は、出来るのか(5月6日迄)伸びた場合の対策も検討しなければならない。
- ・ わかりません。
- ・ 安全に使用できるまで利用を中止してほしい。利用が早まると不安でも活動しなくてはいけなくなる。



**Q9. 行政や助成団体などの他組織へのご要望があればご記入ください。**

**【3月集計】**

- ・ 前述と同じ。(Q8) 兎に角今回は県内の公共施設が軒並み閉鎖となり、会議や作業の場所の確保がとても難しかった。民間(有料)はやっているのだから、公共施設も閉鎖するのではなく、利用者の自己責任において、使用できるようにもっと柔軟な対応ができるとよかったのでは。
- ・ 活動センターの利用については、もう少し柔軟性があっても良い(十分な対策付き)
- ・ ありません
- ・ 藤沢市内でも感染者が出てますね。これからは感染者が出ないような施策を望みます。
- ・ 特になし
- ・ 情報ともっと早い対応を希望
- ・ ネットを上手く使う方法を考えて欲しい。
- ・ この減収による助成金をお願いしたい
- ・ 特になし
- ・ 速く収束に向け対策を考えて頂きたい。
- ・ 非常事態での助成期間の延長
- ・ 発症した場合、発症例の詳細情報(場所、行動範囲、影響範囲、本人情報(年齢・性別・職など)を公開して欲しい。
- ・ 特にありません。
- ・ 行政は役員名簿の提出を従来通りの期限で求めているが、会議が開けないのに全く鈍感
- ・ 公民館での活動なので、学習者の公民館への問い合わせ等に対応してもらいたいです。
- ・ 市役所や関係団体とは協議しながら進めている。特になし。
- ・ せめて少人数の顔見知りのみの活動だけでも早めに解除してほしい。
- ・ 慎重な対応でよいと思います。
- ・ 委託事業や補助事業では当初の契約よりも減額される事例があります。
- ・ NPO 組織は収支のバランスを考えて活動していますので、減額ありきの提案は活動停止につながります。
- ・ 今回の場合、それでなくても多くの組織で利用者が減少し、自主事業収入も減少している中、損失補填も視野に入れた検討をお願いしたいと思います。
- ・ 特に、行政は、柔軟性がほしいところです。例えば、子ども食堂の場合、学校給食の代わりにと行政に掛け合っている事例も見聞しますが、「できません」ではなく、どうすれば、できるようになるのか、市民目線で、考えることをしてほしいと思います。
- ・ 引き続き、応援よろしくお願いします。
- ・ 後援名義申請・道路使用許可申請などを例年通り速やかに処理してほしい。
- ・ 上記 Q8 の内容をメールマガジン等で配信して頂きたい。(Q8) 国や市などから発信される感染症予防対策に関する最新で、正しい情報提供
- ・ 出来る限りの補償と、終息後に活気を取り戻すための準備を共に進めていければと思います。
- ・ 新型コロナウイルスに感染していない(もしくは抗体がある?)が前提になってしまうが、
- ・ 外国から農業等の研修を受け入れていた農家に手伝いの範囲なら動ける人は多いのではないかと思うので上手くマッチング出来ないものかと思います。

**【4月集計】**

- ・ 中小企業対策と同等の資金支援策やテレワーク推進補助金の給付と、該当事業がある場合の支援事業や補助金に関する情報提供
- ・ 簡素な補助金や助成金申請が必要
- ・ あらたな事業を展開するために必要な機材をえるための補助金が欲しいです。
- ・ 藤沢市の所轄窓口業務の維持
- ・ 家賃など支払いに対する融資
- ・ 行政の情報の出し方(タイミング、具体的な内容)の改善
- ・ 健康の森公益的の市民活動範囲の予算拡大希望
- ・ 県の要約筆記養成講習が開催されるよう望みます。全て収束後、延期となっている要約筆記講習の開催を望みます。
- ・ 手や机・椅子などに使う消毒液などを、利用するときに用意してもらえるとありがたいです。個人では手に入らないので。

**Q10. その他今回の新型コロナウイルス感染拡大について、団体として気になっていることなどをご記入ください。**

**【3月集計】**

- ・ 行事等を横並びで規制するのではなく、個々の責任において行動すれば良いと考えます。
- ・ 行政の市民への情報開示が国、県に準じて行うため、遅い。(市のHP)。市の対応策についても市民への協力事項だけでなく、積極的な行政の対応策があり、市民へ安心感を与える
- ・ 姿勢、情報が必要
- ・ メンバーは学校教育の現場に勤務しているので、来年度の勤務について見通しが持ちにくい。また、子どものストレス、保護者や教職員の疲弊の実態把握やそれへの対応を工夫する必要があると考えている。
- ・ うちの会員や参加者からは感染者が出ないことを祈るばかりです。
- ・ 特になし
- ・ 一般には間違った情報が多く伝わっているので、正しい情報を届けてほしい
- ・ 新型コロナウイルスがパソコンに移らないか心配????
- ・ 不特定多数の受け皿として衛生面での実施は欠かせない。共有資産についての消毒など経費をかけなければならないとしている
- ・ 世の中の閉塞状態が長期化すること、あるいは収束時期の予測がつかないこと
- ・ 終息が年越しにならない様に願っております。
- ・ ニコニコの活動の性質上 コロナウイルスの感染が拡大した場合4月も活動休止になります。
- ・ 児童養護施設の児童の対応が心配です
- ・ 特にありません。
- ・ Q7に示したように、学生のモチベーションの維持に影響がないか心配している。(Q7)学生との連絡はメール等で密にとることを心がけている。
- ・ 特にありません。
- ・ 外国人への日本語支援の団体なので、外国人に対しての配慮が必要と考えています。
- ・ この状態がいつまで続くのかだけが気掛かりです。
- ・ ワクチン完成の進捗。
- ・ 長期化すると、受益者(こどもたち)、支援者、ボランティア会員との関係が途切れる可能性があるため、こまめな連絡に努めていきたいと考えています。
- ・ いっぱいある。
- ・ 人、物の流れが滞ったことによる不況で介護関連の事業所の破綻などがおこり、地域包括ケアが困難になるのではないかと
- ・ 11月のイベント開催&関連準備の協力&人数確保を従来通りできるかが懸念される。
- ・ また、経済的易経により協賛金の確保も懸念される。
- ・ 感染症予防対策等で、正しくない情報に振り回される受益対象者が増えないことを願います。また、一日も早く、悩みを抱える親子が集える「居場所」を開催したい次第です。
- ・ 次にいつイベント開催できるか気になってます。準備をするにも時期など迷い中です。
- ・ 亡くなる方が1人でも少なく終息することだけを強く願っています。
- ・ 福祉をターゲットに活動するため、ウイルスの媒介者にならないこと、また実情を捉えて自粛も検討して行かなくてはいけないとも考えます
- ・ 長期戦となると考えているが、対面が必修な仕事なのでリスクは伴うとは考えていますが、全く…想像が付きませんがもう少し、貢献できることがあるのではないかと悩んでいる
- ・ 高齢者が多くクラスター化し罹患した場合は重症化する可能性が高い。

**【4月集計】**

- ・ 今後の活動継続が困難となり、活動休止・廃業となるリスク
- ・ 年齢が上の会員が多いので、感染したら恐ろしい
- ・ 自粛の時期がいつまでになるか。交流会を早く再開したいです。
- ・ 感染者数の実態把握
- ・ 利用者さんたちを含め年齢層が高いので、感染拡大を大いに心配しています
- ・ 講座などで3密を注意し、無理な活動はしないようにしています
- ・ まだ、運営委員などが集まらないので、これから。
- ・ 感染拡大の終結の終わりは、いつになるか。
- ・ 利用者から筆記通訳依頼があったらどのように引き受けられるのか。
- ・ ・活動の開始時期についての判断が難しい。・対面で会話しながら学習するので不安がある。・学習者は若い人が多いが、支援者はほとんど高齢者でリスクが高いと考えられる。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うアンケート調査報告書

発行・調査・編集： 藤沢市市民活動推進センター

（指定管理：特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構）

住所： 神奈川県藤沢市藤沢 1031 小島ビル 2 階

電話： 0466-54-4510 ／ FAX： 0466-54-4516